

山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	当院における小児抗 MOG 抗体関連疾患の後方視的調査		
② 実施予定期間	実施許可後 から 2026 3 月 31 日		
③ 対象患者	対象期間中に山口大学医学部附属病院小児科を受診し、中枢神経脱髄性疾患が疑われた患者さん		
④ 対象期間	1997 年 4 月 1 日から 2024 年 8 月 31 日		
⑤ 研究機関の名称	山口大学医学部附属病院		
⑥ 対象診療科	小児科		
⑦ 研究責任者	氏名	松重武志	所属 山口大学医学部附属病院小児科
⑧ 使用する情報等	<p>診療録で以下の情報を調査します。識別コード、入院時年齢、生年月、性別、身長、体重、基礎疾患、合併症、既往歴、家族歴、現病歴、症状、急性期および維持期治療内容、治療期間、副作用、臨床病型、神経学的予後。</p> <p>血液検査データ：血算（白血球数、白血球分画、赤血球、血小板）、血液生化学（総蛋白、アルブミン、総ビリルビン、γ-GTP、AST、ALT、BUN、クレアチニン、Na、Ca、K、Cl、CRP）、自己抗体（抗MOG抗体、抗AQP4抗体）</p> <p>髄液検査データ：細胞数、蛋白、ミエリン塩基性蛋白、オリゴクローナルバンド、自己抗体（抗MOG抗体、抗NMDA受容体抗体）</p> <p>画像データ：MRI（頭部、脊髄）所見</p>		
⑨ 研究の概要	<p>私たちの研究では、過去当院で診断された小児の中枢神経脱髄性疾患について調査を行います。中枢神経脱髄性疾患とは、脳や脊髄において神経を保護する「ミエリン」という物質が損傷を受ける病気です。この中には、ミエリンオリゴデンドロサイトグリコプロテイン（MOG）抗体関連疾患や多発性硬化症、視神経脊髄炎スペクトラム障害、急性散在性脳脊髄炎などが含まれます。MOG抗体は、本邦では2010年代から検査が普及し、診断の指標として使われるようになったため、MOG抗体が検査される前に診断された患者さんの中にも、実はこの抗体が関与していた可能性があります。</p> <p>この研究の目的は、過去に診断された患者さんのデータを再評価し、MOG抗体関連疾患の特徴や診断の妥当性、最適な治療法、再発のリスクを明らかにすることです。特に、再発性経過の患者さんを特定し、当時の診断</p>		

	<p>や治療の選択がどのような影響を与えたのかを調べます。これにより、将来の診断や治療に役立つ情報を提供することを目指しています。</p> <p>この研究では、過去に診断された患者さんのカルテに記載されている情報を使用します。具体的には、上記を含みます。</p> <p>収集したデータをもとに、統計的に解析し、治療反応の違い、再発のリスクや予後について評価し、治療の選択肢を検討します。研究協力者として、学部学生が本研究で得られた臨床データの整理、解析や評価等を行うことがあります。特定の個人が識別できないように加工されたデータのみを取り扱います。</p>			
⑩ 実施許可	研究の実施許可日	2024年10月22日		
⑪ 研究計画書等の閲覧等	<p>研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。</p> <p>詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。</p>			
⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。			
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。			
⑭ 知的財産権	山口大学に帰属します。			
⑮ 研究の資金源	奨学寄附金			
⑯ 利益相反	ありません			
⑰ 問い合わせ先・相談窓口	山口大学医学部附属病院 小児科 担当者：松重武志			
	電話	0836-22-2258	FAX	0836-22-2257